

みなまた 市議会だより

第71号

平成29年1月15日

編集 みなまた市議会
だより編集委員会

発行 水俣市議会
電話61-1661

<http://www.city.minamata.lg.jp>

E-mail: [gikai@city.](mailto:gikai@city.minamata.lg.jp)

[minamata.lg.jp](http://www.city.minamata.lg.jp)



新たな議会の始まりに向けて

水俣市議会議長 福田 斉



あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、希望あふれる輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中、市議会に賜りましたご支援とご協力に対し、厚く御礼申し上げます。

昨年の熊本地震発生から9カ月が経ちました。被災地の方々におかれてはどのような新年をお迎えのことでしょうか。更なる復旧、復興が加速されることを切望いたします。水俣市においては同じく被害を受けた庁舎の建て替えを余儀なくされました。これに合わせ昨年12月15日の議会最終日をもって本会議場が閉鎖されました。

昭和34年、現在の天皇・皇后両陛下の御成婚を祝し、市制施行10周年の記念事業として旧庁舎の起工式が行われたと記録にあります。議場建設以来56年の長きにわたり、先輩議員と市執行部の間では数々の諸問題について真剣なやり取りがなされてきました。同じ議員として万感胸に迫るものがあります。あらためて先輩諸氏に対し心から敬意を表します。

議会は水俣市の意思の最終決定機関です。市民の福祉の向上、そして何より水俣に活力を与える施策の実施に向け議会としても真剣に取り組んでまいります。

今年も昨年同様、肩の力を決して抜かず、スピード感を持って駆け抜けます。引き続き市民の皆様の温かいご支援をお願いいたしますとともに、新たな年が皆様にとりまして健康で幸せに満ちた一年となりますよう心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶いたします。

12月定例会の報告 可決された補正予算・条例など

平成28年度会計別補正予算

単位：千円

会 計 名	補 正 額	補正後の額
一般会計	2 2 6 , 2 6 0	1 6 , 1 1 4 , 3 9 3
国民健康保険	3 , 9 4 3	4 , 9 1 9 , 5 0 1
介護保険	1 , 7 2 0	3 , 4 0 6 , 5 3 6
水道事業（収益的支出）	4 4 3	3 6 0 , 8 2 9
水道事業（資本的支出）	3 5	4 1 9 , 4 9 9

《新たな条例の制定》

●水俣市農業委員会及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定

農業委員会等に関する法律の改正に伴い、委員の選出及び定数の定めと、報酬及び費用弁償条例を改めるよう定めたものです。

●水俣市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定

一定の期間において専門的な知識経験が必要とされる業務等について、必要な人材を任期付で採用できるよう定めたものです。

●水俣市長及び副市長の給与の減額に関する条例の制定

水俣環境アカデミアホームページ作成業務における不適正な事務処理に関して、総括的な管理監督責任があるとして、市長給与月額×1/10の2カ月、副市長給与月額×1/10の1カ月をそれぞれ減額するよう定めたものです。

【採決結果は4ページ右下段参照】

※水俣市人権擁護に関する条例の制定は継続審査となりました。

《現行の条例改正》

●水俣市職員の退職管理に関する条例の一部を改正する条例の制定

水俣市立小・中学校職員について必要な事項を定めるよう改正したものです。

●水俣市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定

平成28年人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定等に準じて改正したものです。

●水俣市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例の制定

雇用保険法の改正により失業等給付の給付内容等が変更されることに伴い改正したものです。

●水俣市税条例の一部を改正する条例の制定

外国居住者等の所得に対する相互主義による所得税等の非課税に関する法律の施行に伴い改正したものです。

●水俣市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定

右同様に、外国居住者等の所得に対する相互主義による所得税等の非課税に関する法律の施行に伴い改正したものです。

●水俣市手数料条例の一部を改正する条例の制定

国外犯罪被害者弔慰金等の支給に関する法律の施行に伴い、被害者又はその遺族の戸籍に関し、無料で証明を行うために改正したものです。

●水俣市湯の鶴温泉保健センターの設置等に関する条例の一部を改正する条例

附属施設として湯の鶴憩いの広場（足湯）を開設するために改正したものです。

●水俣市体育施設条例の一部を改正する条例の制定

小・中学校再編成後に社会体育施設として転用した施設等について、使用料の適正化を図るために改正したものです。

《その他》

●工事請負契約の変更

防災行政無線整備工事請負契約について、設備の変更や戸別受信機の数量に変更が生じたため、契約金額1,100,520千円から約1,182千円を減額するものです。

●水俣市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定等の変更

仮庁舎への機能移転に伴い、現行設備の運用が困難なことから、久木野・釣橋・袋での特定事務を休止するものです。

《陳情・意見書》

●陳第3号（継続審査）

若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める陳情について

●陳第5号（陳情取り下げ）

「原発避難計画策定委員会の設置」を求める陳情について

●陳第6号（全員賛成・採択）

「知的障がい者小規模入所施設」開設の陳情について

補正予算の主なもの

○産地パワーアップ事業費補助金



9,310万円
J Aあしきた玉葱選果場への選果機械の導入に対する補助金です。

○中山間地域総合整備事業負担金

135万円
中小場・南袋の圃場整備に関する経費です。

○道の駅・海の駅整備基本設計業務委託料

689万円
国土交通省が認定する海の駅構想を進めるため、物産館の新設や進入路の整備等、基本設計を行うための委託料です。

○障がい児通所施設給付費

1,400万円
障がい児の「放課後等デイサービス」等の通所支援のため、給付するものです。

○本庁舎等仮囲設置工事他

592万円
仮庁舎へ移転後に本庁舎に仮囲いの設置工事を行います。なお、本庁舎の駐車場は従来どおり利用できます。

○担い手確保・経営強化支援事業費補助金

667万円
農業法人MOAファームがトラクター1台と農薬散布機1台を購入するための補助金です。

○筆界未定地測量設計業務委託料

305万円
日当交差点（湯の見入口）付近の筆界地確定のため測量を行います。

○マイクロバス購入費

680万円
センコーグループからの寄附金（500万円）を活用し、障がい児の通学支援のため、マイクロバスを購入します。

●陳第7号（陳情取り下げ）

天草市御所浦町御所浦黒崎地区での採石継続及び採石跡地を鉄鋼スラブや浚渫土砂で埋め戻すことに反対する意見書提出を求める陳情について

●陳第8号（継続審査）

原子力災害に関する専門部会の設置を求める陳情について

●意見第4号（全員賛成・可決）

地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書について
全国的な投票率の低下傾向、無投票当選者の割合が高くなる等、地方議会議員のなり手不足が深刻な問題となっていることから、国民の幅広い層からの政治参加や人材確保のためにも、法整備を早急に実現するように要望するものです。

水俣市長及び副市長の給与の減額に関する条例の制定に関する討論

【反対討論】

・水俣環境アカデミアのホームページ作成における不正会計処理に関する処分だが、7月14日の発覚から5カ月も経過しているにも関わらず、市民に公開されている公式な場である9月及び12月議会で一連の問題を収束させたいとする市長自らの説明が全くなされておらず、職員や市民の信頼は得られていない。
・一般質問で追及されても不明確な答弁ばかりで自覚と責任を市長が感じているか疑問である。市報や市長個人のブログで陳謝を正当化する姿勢は事の重大さに対する認識が欠如している。公文書開示請求で引継文書の不在が明らかで、不正に関与した業者に対しては仮庁舎業務で約5千万円の随意契約という非常識さ及び処分が不十分であるため、時期尚早である。
【賛成討論】
・説明責任が果たされていないという意見があるが、全員協議会での陳謝、広報紙及び記者会見で市長自ら明らかにしたと聞いており、一定の説明責任は果たされている。相手方の業者に対しても、コンプライアンスの徹底を要望したと聞いている。
・水俣環境アカデミアに関する取り組みで、担当職員が膨大な業務に押しつぶされる形で不適切な事務処理が発生したと認識している。執行部の動きを点検すべきは、正確な調査・原因の究明・職員の処分・再発防止策・市長の説明責任と謝罪である。これらのことは、議会の一般質問で解明し、点検できたと認識している。

本会議による採決結果

会派 議員名	政進クラブ			真志会			無限21			日本共産党		自民党	公明党	水進会		
	福田 斉	岩阪 雅文	中村 幸治	田口 憲雄	高岡 利治	谷口 明弘	塩崎 達朗	桑原 一知	谷口 眞次	藤本 寿子	田中 睦	野中 重男	高岡 朱美	松本 和幸	牧下 恭之	小路 貴紀
採決	議長	賛	賛	賛	反	反	反	反	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	反

常任委員会の報告

*各常任委員会で交わされた主な質疑の内容です。

総務産業

専決処分の報告及び承認1件、条例の制定4件、条例の一部改正7件、補正予算4件、その他の議決事件1件、陳情1件（新規）

●水俣市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について

質疑—14名の農業委員を選考する要件として、過半数が認定農業者となっているが、それ以外は農業者でなくてよいのか

答弁—農業に関する識見を有し、会の所掌事務を適切に行う事ができれば誰でも応募できる。認定農業者が過半数に満たない場合は、例外規定として議会の同意が必要である。

●水俣市長及び副市長の給与の減額に関する条例の制定について

質疑—今回の条例の制定について、過去にこれよりも厳しい例はあったのか

答弁—把握している過去の例で、これよりも処分が重かった例はない。

【討論及び採決の結果】

市長として説明責任を果たしていない等の意見と、議会で減額処分が出されている等の意見があり、採決の結果、賛成多数で可決した。

●平成28年度水俣市一般会計補正予算（第8号）中付託分について

質疑—仮庁舎へ移転後に本庁舎に仮囲いをする事について、工期と現在の駐車場は使用できるのか

答弁—工期は1月中旬頃から1カ月程度。駐車場もこれまで通り利用できる。

●工事請負契約の変更（防災行政無線整備工事の契約金額の変更）について

質疑—戸別受信機の導入について、1台当たりの金額はいくらか。また戸別受信機の設置申込みは今後も可能か

答弁—1台当たり4万円弱。今後の追加申し込みも随時受け付ける。

●平成28年度水俣市一般会計補正予算（第9号）について

質疑—海の駅構想とはどのようなものか

答弁—国土交通省が認定する制度。熊本県が水俣港を改修中で棧橋を建設する予定。海からの観光客が利用できるようになる。

厚生文教

条例の一部改正1件、補正予算4件、その他の議決事件1件、陳情3件（新規2、継続審査1）

●水俣市体育施設条例の一部を改正する条例の制定について

質疑—学校部活動については、体育館やグラウンドの使用料は、減免等の措置を講ずるべきと考えるがいかがか

答弁—学校部活動は教育活動の一環であり、子どもたちの健全育成、子育てしやすい環境を整備する面からも円滑に行われることが望ましいと考える。教育委員会としても、減免等により部活動の支援に努めていきたい。

●平成28年度水俣市一般会計補正予算（第8号）中付託分について

質疑—校舎や体育館における非構造部材の耐震化改修はどのくらい続くのか

答弁—体育館の吊り天井の耐震化は全て終わっているが、校舎外壁の爆裂についての改修工事は、現在も継続して行っている。今後は袋中、緑東中の順番で計画的に工事を行っていく予定であるが、その他の小中学校についても老朽化が進んでいるため、しばらくは改修工事が続くと思われる。

●平成28年度水俣市介護保険特別会計補正予算（第3号）について

質疑—介護予防・日常生活圏域ニーズ調査委託料の調査方法と内容について

答弁—65歳以上の1,500名の高齢者に対し、アンケート調査を行う。調査項目は63問程度を予定しており、リスクの発生状況の把握と社会試験等の把握に分類することができる。まず、リスクの発生状況の把握については、運動機能の低下、低栄養の傾向、口腔機能の低下等の調査項目となっている。次に、各種リスクに影響を与える日常生活の把握については、ボランティア等への参加の頻度、たすけあいの状況、地域づくりの場への参加の意向等が調査項目となっている。

●水俣市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定等の変更について

質疑—機器の再設定にはどれくらいの費用がかかるのか

答弁—費用面よりも、現在使用しているOSがWindows XPであるため、これを設定するためのパソコンの入手が困難であり、再設定が難しい状況にある。

要望—遠隔地の高齢者等への配慮も含めたサービスの提供等も含めて、今後検討してほしい。

●「知的障がい者小規模入居施設」開設について

陳情について
知的障がい者及びその親も高齢化していることから、親の不安を考慮すると、陳情の趣旨を了とし、全員異議なく採択すべきものと決定した。

及び企業会計決算審査報告

一般会計決算特別委員会要望書

- 1 事業の実施にあたっては、期限や法令遵守を徹底し、不正な事務処理などにより市民の信頼を失うような事業が二度と発生しないよう対策を講じられたい。
- 2 市役所庁舎建て替えについては、建設地、建物の規模、建設コスト及び防災拠点機能等を果たすため、迅速かつ慎重に検討し、進捗状況については市民への情報公開に努められたい。
- 3 処分可能な市有地の売却に努めるとともに、市内の土地の有効利用に向け、廃校跡地の活用等も含めた水俣市土地利用計画を作成するよう努められたい。また、市民の利便性向上のため、必要に応じ、市有地の新たな取得も検討されたい。
- 4 税の公平性の観点から丸島水路公害防止事業費事業者負担金や、その他の税の収入未済分については、引き続き徴収に努められたい。また、自主財源の確保のため、ふるさと納税制度の取
- 5 本市の高齢化率は36%という状況であり、来年度が最終年度を迎える第6期ひまわりプランの確実な実施に努められたい。
- 6 リサイクル推進事業や生ごみ、可燃ごみ処理については、毎年横ばいの処理状況である。今後、ごみの減量化、ゼロ・ウェイスについても周知し、一層の指導、広報に努められたい。
- 7 農業、林業、水産業の振興に寄与するため、サラたま、お茶、シラスに次ぐ、水俣ブランド品を確立するため、不知火（デコポン）、太秋柿の生産量拡大、和紅茶や恋路カキなどの認知度を上げ、市内外への販路拡大に寄与する施策を講ずるよう努められたい。また、六次産業化の達成のため、水産加工品の商品開発を強化する施策を講じ、さらに漁獲量の減少の対応策を講ずるよう努められたい。
- 8 耕作放棄地の解消については、高齢化や担い手不足の解消など難しい課題があるが、国や県の補助事業を活用し、各関係機関や営農関係者と協議の上、耕作放棄地の拡大防止や農地の有効活用に積極的な対策を講ずるよう努められたい。
- 9 鳥獣による農作物の被害拡大、またイノシシやシカ、サルなどの市街地への出没で市民の安全を脅かすような事態が発生しているため、有害鳥獣駆除事業については、今後も対策を推進されたい。
- 10 人口減少問題は、地域経済と地域活力を縮小させ、水俣市の存立を脅かす重大な課題である。市長が示された定住人口の目標3万人を達成するため、あらゆる施策を講ずるよう努められたい。特に、地元の若者が多様な選択肢の中で働く場所を見つけられるよう、国、県の政策を積極的に活用し、商工会議所や企業支援センターなど関係機関と連携して、地場企業の育成支援、
- 11 観光振興については、湯の児温泉や湯の鶴温泉地域のハード面の整備、エコパーク水俣のバラ園の整備、シラスやスイーツなどの商品開発の取り組みなど、民間の努力も相まって徐々に効果が表れつつある。今後は、増加傾向にある海外からのクルーズ船の観光客の本市への誘致や、数年後に完成予定の南九州西回り自動車道水俣インターチェンジの開通に向けて、近隣自治体や関係者との十分な協議と連携のうえ、地域特性を考慮して情報発信等を強化し、観光入込客、特に宿泊客のさらなる増加に向けて努力されたい。
- 12 近年、大規模な自然災害が多発している。本市の場合、特に豪雨による急傾斜地崩壊及び堤防決壊による市街地の冠水の危険性が高いと想定される。また、活断層に起因する大規模地震の発生も想定すべきである。国や県と連携して、早急に
- 13 次世代を担う子どもたちの教育や文化、スポーツに係る取り組みは、本市の将来を左右する重要な施策であり、教育施策の充実や文化・スポーツ活動への予算の配分を充実するよう努められたい。
- 14 廃校後の学校跡地の有効活用について、企業・団体など民間への貸し出しなども積極的に検討し、特に耐震強度に問題のある建物の扱いについては、取り壊しなども含め、早急に結論を得られたい。
- 15 市内の遺跡や文化財の適切な保護・管理のため、廃校跡地などを中心に、歴史民俗資料館の設置や専門の学芸員の確保を検討されたい。

平成27年度 一般会計、特別会計

特別会計

水道事業

質疑―東部地区方面の水道の統合による給水の運営状況について

答弁―管理する施設が16カ所23施設に増え毎日の検査や緊急時等の調査等職員の負担が大きくなっている。

統合でかかった費用は約7億円、対象世帯は約300世帯、純利益は約400万円と思われる。

水道事業全体としては、人口減等により、10年間で約7,000万円減少している。

質疑―人口減少等により収入は減少するが、経費は減少しないのか

答弁―人口減で水の使用量が減っても同じように水を送るための管理は必要である。

さらにポンプ場等が55カ所、建物及びポンプ、制御盤等の設備の老朽化に伴う更新や耐震化等経費がかかってくる。



公共下水道事業

質疑―水俣市北行政区で行われている汚泥処理について県内では荒尾市の汚泥処理工場で堆肥化している。水俣ではお金をかけて燃やしている。処理金額が安ければ、汚泥処理工場へ堆肥化処理させる方法も検討すべきではないか

答弁―現在、広域により協定を結んで処理している。変更の可能性について、今後、長期的に検討したい。

病院事業

質疑―入院や外来の患者数が前年に比べ、大きく減少しているが、その原因をどう捉えているか

答弁―対象エリアの人口減少が一番の原因と考えられるが、整形外科の医師の異動等による影響もあった。

質疑―病院事業における費用削減の考え方について

答弁―地域の救急病院として維持していくためには、最新の高度な医療機器の導入が必要であり、一定程度の費用をかけて投資が必要である。導入の際には、年度計画を立て、リース等の検討も行っている。また、治療のための診療材料については、より効果的なものが安い費用で抑えられるか、診療材料委員会での検討を重ねている。



国民健康保険事業

質疑―人間ドック検診助成金が計上されているが、毎年、何人ぐらいの助成であるのか

答弁―人間ドックの定員は120名となっており、数年は定員を若干、下回っている。

後期高齢者医療

質疑―電算システムの改修委託料の中身について

答弁―個人番号制度導入に伴う後期高齢者医療制度の電算システムの改修である。

介護保険

質疑―認知症高齢者見守事業委託料と高齢者虐待防止対応業務委託料の委託先について

答弁―前者は水俣市社会福祉協議会に委託し、後者は、弁護士や社会福祉士等で構成される熊本県高齢者虐待対応専門職チームに委託している。

質疑―本市の高齢者虐待の事例は増えているのか

答弁―今までも報告は受けていたが、相談窓口の周知等により、相談件数で見ると、現時点では昨年の18件の5倍、99件となっている。



庁舎建替等対策特別委員会の報告

昨年4月に発生した熊本地震の影響により、庁舎のいたるところに被害が発生し早急な対策が必要となり、移転の問題・新庁舎の建設に関する問題等を議論する場として、平成28年6月議会において、庁舎建替等対策特別委員会を設置しました。

委員長・副委員長を含め9名の議員（委員）で構成し、仮庁舎への移転問題・新庁舎建設に関する諸問題（建設場所・市民の利便性・災害に強い庁舎）等多くの課題について、これまでに7回の特別委員会を開催してきました。（平成28年12月現在）

また、昨年12月下旬から仮庁舎での業務を開始しており、今後は新庁舎建設に向けての議論が行われます。おおよそ5年以内での完成を目指し、限られた時間の中で水俣市の身の丈に合った庁舎ができるように、議会としても執行部に対して提言も含め議論をしていきます。

今後も市民の皆さまに、議会だより等を通じ、随時ご報告いたします。



あなたの**声**を**市政**に

一般質問

12月定例会では、9人の議員が一般質問を行いました。

水俣市は1人70分以内で、1テーマにつき3回まで質問できます。議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁の一部を掲載しています。

●岩阪 雅文

1. 地方創生における政府機関の地方移転、その後の経緯と対応
2. 新庁舎建設に伴う具体的な計画
3. 水産業の育成とクマモトオイスター事業への具体的取り組み
4. 財政状況に対する具体的対応

●谷口 明弘

1. 平成29年度予算編成
2. 水俣高校支援策
3. 運転免許自主返納者支援

●藤本 寿子

1. 水俣病公式確認60年事業の内容とその目的、成果は
2. 水俣市の「原子力災害対策計画」
3. 水俣市の定住移住促進事業の進捗状況

●野中 重男

1. 水俣病について
2. 八幡プール群について

●田中 睦

1. 水俣病問題
2. 防災について
3. 教職員の勤務実態と健康

●塩崎 達朗

1. 防災対策
2. 地域おこし協力隊について
3. 木質バイオマス発電事業計画

●高岡 朱美

1. 介護をめぐる状況と今後の課題
2. シルバー人材センターによる放課後学習支援事業

●小路 貴紀

1. 水俣環境アカデミアのホームページ作成における不正処理
2. 市長ブログ
3. ふるさと納税
4. 災害時の対応

●牧下 恭之

1. コンビニ交付・納付
2. 教育問題
(1)日本一の読書のまちづくり宣言
(2)図書館について
(3)デイジー教科書について

一般質問席



岩阪 雅文 議員

新庁舎完成は 平成33年度中

漁業の育成策は マガキの養殖・カキ小屋・漁師市

一般単独事業債・減債基金等 14.5%（市負担分）
熊本地震の特例 一般単独災害復旧事業債 85.5%（国負担分）

財政負担割合（イメージ図）

【問】 新庁舎移転に伴う
具体的計画は
【答】 基本構想、実施計
画、新庁舎建設の流れ
となる。
市民を交えた庁舎建
替検討委員会で新庁舎
の規模、建て替え時期、
位置等について検討す
る。



水俣市の歴史を見つめつつ

【問】 庁舎建設に伴う財
政措置について、国は
一般単独災害復旧事業
債において、熊本地震
による特例を認めた。
建設費はどの程度で水
俣市の負担額はいくら
か
【答】 新庁舎の規模、職
員数、設備等にもよる
が40億円程度となるの
ではないか。
財源としては、一般
単独災害復旧事業債で
約34億2,000万円。
市の負担額は5億8,
000万円程度になる。

マガキ養殖への具体的支援策は

【問】 水産業の育成とマ
ガキの養殖、カキ小屋
漁師市への具体的支援
策について、どう対処
するのか
【答】 マガキの養殖につ
いては、市漁業協同組
合が取り組む「恋路カ
キ」のブランド化を支
援し、水俣地域の経済
の振興と活性化につな
げていく。

また生産量の増加、
技術取得、人材確保や
販売促進等必要な支援
を行う。

カキ小屋は

【問】 カキ小屋の開始か
ら今年で2年を迎える。
今後どう対処するのか
【答】 カキ小屋は現在丸
島漁港にあるが、テン
ト張りの粗末なもの。
開催場所を「まっぼっ
くり」周辺に変更し新

漁師市の

支援策は

【問】 漁師市について、
これまでの成果はどう
であったか。また加工
場の建設や商品開発、
販売等「海の駅」と連
動した第6次産業化に
向け取り組むべきと思
うがいかがか

設。カキ小屋の設置を
支援、販売員の増員等
準備を進めている。市
としても積極的に支援
を行う。

【答】 漁師同士のコミュ
ニケーションが活発に
なり組合の活性化につ
ながっている。

加工場については現
在、漁業協同組合と協
力し、丸島漁港敷地内
の倉庫を改修し、水産
物の加工販売のための
商品開発、直売のでき
る施設の整備を計画し
ている。また人材確保
等第6次産業化に向け
た取り組みに対し、必
要な支援を継続的に
行っていく。



2周年で盛況の漁師市（12月10日）

他の自治体に先んじて予算編成 作業の透明化を進めるべきだ



谷口 明弘 議員

平成29年度予算 編成について

問 予算編成作業の最中だが、基本的な考え方はいかがか

答 最終年度となる第5次水俣市総合計画及び第5次水俣市財政改革大綱の推進。市長任期最終年度となることから市長マニフェストの確実な推進。地方創世の取り組み。市民生活を守る取り組みと地域経済への配慮の5項目を基本的な考え方として挙げている。

問 市道の維持補修予算は、市民の要望が非

常に高い、過去3年の土木課の概算要求額と査定後の当初予算額では1億円以上の乖離がある。これでは市道の劣化は進むばかりで係る予算は積み上がるばかりではないのか。災害時なくてはならない建設業者の数も年々減ってきている。市道を維持補修する予算を増額するべきと思うが市の考え方はいかがか

答 限られた予算の中で市道の修繕を行わなければならず、要望のあった箇所が5、6年かかってしまう現状だが、今後は定期的なスパンまたは、大規模な事業がない時に、積み残した案件を大幅に減らせるようなメリハリのついた予算を組みたいと考える。

問 予算編成の過程は現在、議員はもちろん市民も見えない。近年では熊本県や熊本市で

は要求額や査定の結果を公表する自治体も出てきたが水俣市も公表すべきではないか

答 予算の透明化について、平成30年度からは、予算編成方針の公開をまず行い、その次の段階は、他市の状況を調査研究したい。

水俣高校を本気で支援して

問 水俣高校支援策について平成29年度予算にはどのように反映されるのか

答 アカデミアを活用した高大連携未来塾やSGH事業の一環として国際交流事業に参加するための支援を検討している。

問 高校生への給食事業として、例えば民間業者を利用して地産地消のお弁当や学食等を整備してはどうか

答 高校の判断が必要であり、市としては現状考えていない。

痛ましい高齢者の交通事故を減らすには

問 運転免許自主返納者にどのような支援があるか

答 平成28年10月からみなくなるバスチケット50回分や乗合タクシーチケット等を配布している。ただし、総務課窓口で申請が必要である。





藤本 寿子 議員

原子力災害に備え、市の原子力防災計画を推進すべきだ

水俣病公式確認 60 年事業

【問】 どのような事業内容であったか

【答】 内外に向けた効果的発信を行う事を目的に民間団体等から事業の企画を募り、事業の一部に補助金を出した。「石川さゆり」コンサート。歌や踊りを通じて「いのちこそこのさりと学校等で荒馬座公演、福島の中学生と水俣の中学生交流事業等である。

【問】 水俣病犠牲者慰霊式の位置付けと今後は

【答】 今後も続ける。水俣病で犠牲になられた

方への責務と考える。

【問】 水俣病資料館はリ

【答】 ニューアルされ、今後、ますます水俣の窓口として国内外の人々を受け入れると思うが、水俣病の専門家の配置や長期的な計画が必要と考えるが

【答】 今後、検討する。

水俣市の「原子力災害対策計画」

【問】 この間何度も市民を守るため「安定ヨウ素剤」の準備が必要と質問している。本当に用意する気持ちがあるのか

【答】 市としては、どのように配備すれば良いか考えている。

【問】 市には、原子力防災計画があり、放射能事故時を想定し、方針



対するべきである。その上で脱原発再生エネルギーの町を目指してほしい

【答】 再稼働には大変懸念している。市民の不安に応え、再生可能エネルギーの町を目指していく。

水俣市の定住化学

【問】 過去5年間の転出者数、転入者数は

【答】 転入者数より転出者数が745人上回っている。

【問】 市の今後の施策は

【答】 空家バンク設立、「熊本県Uターンアドバイザー制度」等を紹介している。

【問】 人口2万3千人、全国住みたい田舎ランキング3位の大分県豊後高田市は過去5年間転入者数が転出者数より180人上回っている。

る。ガイドブックは3つあり子育て支援、住宅支援、就労支援等135に及ぶ項目で、Iターン・Uターン・孫ターンを促している。水俣市も是非参考にしたいと思うが

【答】 当市にも良いところが多々あり、参考にして取り組みたい。



八幡プール群の護岸整備 は汚染者負担原則で



野中 重男 議員



昭和44年12月以降生まれの水俣病被害者の救済を

④ 水俣病特措法は44年12月以降生まれの被害者について、救済対象年齢ではないと切り捨ててきた。しかし、藤野医師ら県民会議医

師団の175人の検診資料は、奄美大島の同世代の住民等と比較して水俣病に特徴的な症状を示す人が多く、水俣病の影響は明らかである。へその緒の水銀値でも国立水俣病研究センターや県民会議医師団の資料には東京都が40年に調査した平均値の7倍のものが出ている。12月以降には汚染はないとは考えられない。若年者の健康調査がない限り科学的資料は出てこない。調査すべきと思わないか

⑤ 44年12月以降、水銀が完全にゼロになり、暴露がなくなったと言う証明は難しい。4人の若年者を救済対象にしているが、その基準は国が決めている。健康調査は、将来、調査手法が開発されそれに基づいた調査でより科学的データが出てくると思う。



八幡プールの湾岸道路は一度も市民に供用していない。寄付者のチッソに返却しないのなら損害賠償請求したらどうか

⑥ 水俣市はチッソから寄付があった八幡プール群周辺の道路につき、巨費を投じて護岸改築などの整備を計画している。しかし、この道路は昨年の12月議会の答弁にあるように「総合評価として全区間において損傷が確認されコンクリート劣化が著しく、強度も低下と推測され補修は困難で改築が望ましい」と答弁があつてい

る。一度も市民に供用されておらず、車の往来や産業活動などにも使われず、改築しないと使えないと言うのは民法551条に該当する。566条で損害賠償請求すべきである

⑦ 水俣市の顧問弁護士と相談した。売買契約で対価を支払った契約であれば、賠償請求は可能であるが無償贈与の場合は無理である旨の見解を得た。市道認定もしていることから市が維持管理するのは当然であり、これらのことから損害賠償を請求する考えはない。





田中 睦 議員

土曜授業の振替取得 実態調査を言明

教職員の勤務実態と健康

【問】 教職員の超過勤務は減っているのか

【答】 超過勤務が月100時間を超えた教職員の割合は、昨年度の20%から18・5%へと減少傾向にある。

【問】 昨年亡くなった電通の女性社員の残業が月105時間だった。学校でもこのような悲劇が起こらないとは限らない。危機感を持った対策を

【答】 不測の事態が発生しないよう、今後も出勤を促す「職員同士の声かけ」や効率的な業

務の実現等、意識改革を推進していく。

【問】 土曜授業の振替について、学校からの報告と実際の取得状況にずれがある。一度点検してはどうか

【答】 報告では振替が取られているが、実態と齟齬^{そご}があるとすれば調査したい。



防災について

【問】 防災訓練の際に防災行政無線の放送が聞こえない地域があったが、原因は何か

【答】 機器の経年劣化による不具合で、放送が流れないとか、過去の放送が流れた等の迷惑をかけた。来年3月を目処にデジタル化を進めている。今後新しい機器を導入して、万が一の時に備えたい。

【問】 防災会議のメンバーに女性や障がい者を入れてはどうか

【答】 婦人会、社協、看護協会から女性が入っているが、障がい者団体は入っていない。地域防災計画ではさまざまな意見を取り入れる必要がある。女性や障がい者の方にも参加していただけるよう努める。

水俣病問題、若い世代に期待



【問】 水俣病公式確認60年にあたっての所感は

【答】 これまで水俣病問題を最大の課題と捉え、患者・被害者救済等に全力で取り組んできた。今後もより一層地域の再生・振興に努める。また、二度と悲惨な公害病が発生しないよう、国内外に向けて情報を発信し続けていく。

【問】 水俣病問題に関して若い世代に期待することは

【答】 若い人が育っているという実感を持っている。若い世代の方々が、水俣病から学んだ教訓を生かし、環境に関して自らが考え、できることから取り組んでいくことを通して、よりよい社会づくりに貢献していただきたい。

【問】 健康調査で実態を把握することが救済につながると思うが

【答】 国・県に伝えたい。

大規模災害時にも対応しうる 防災施策の構築を



塩崎 達朗 議員

防災について

【問】 水俣市地域防災計画の見直しはできているのか

【答】 今年度も行っている。大きな改正点としては、大規模地震発生時緊急初動対応計画、すなわち、大規模地震発生直後の指揮命令、配備体制、初動活動等に関する対応を新たに追加した。地域防災マネージャー制度についても実現に向けて取り組んでいる。

【問】 福祉避難所の設置は、現在もやい館1カ所だが、その他に指定

協力できる所はあるのか

【答】 もやい館を指定し、30人の受け入れを想定している。熊本地震のような大規模災害が発生した場合は、もやい館だけでは対応できないので、福祉避難所を増やす必要がある。候補として、市内の老人福祉施設、介護保険施設、障害者支援施設、児童福祉施設等が考えられる。それらの施設を運営する団体と協議しながら、福祉避難所の協定締結に向けて進



福祉避難所（もやい館）

めていきたい。避難行動支援者名簿については、個人情報が含まれるため、広報誌等により広く市民に周知し、対象者となる方に名簿提供の趣旨を理解してもらい、本人の同意を確認した上で、必要な関係者への提供を行っていききたい。

【問】 防災行政無線戸別受信機の設定状況はどのようになっているのか

【答】 世帯1万6700世帯の71・4%、7,620世帯の申請があ



り、現在1,200世帯の設置が済んでいる。現在も申請があっている状況なので、市報だけでなく、ホームページや地域の回覧等を活用して周知していききたい。

【問】 11月6日の水俣市防災訓練ではどのような訓練をしたのか、また、その成果や反省点はあったのか

【答】 各地域で避難訓練、炊き出し訓練、救助訓練等を実施した。これらの訓練内容等を踏まえ、事前の情報共有や機器の点検等を行い、今後に活かしたい。

地域おこし協力隊について

【問】 現況はどのようなになっているのか

【答】 2名の採用が決定し、久木野地域を拠点に地域資源を活用した観光振興、産業振興、商品開発、地域福祉、情報発信等の活動をしていく。

木質バイオマス発電事業計画について

【問】 現在の状況はどのようなになっているのか

【答】 企業誘致として事業を進めることは、困難であると認識している。



高岡 朱美 議員

後退しつつある介護保険 制度に問題提起を

介護をめぐる状況と今後の課題について

問 今度の制度改定により要支援1及び2の人が自治体が運営するサービス事業に移行することになる。どう変わるのか

答 施設の人員基準や利用料金はこれまで通りにする。訪問介護サービスのうち、掃除、洗濯等軽微な作業を請け負う新しい訪問型サービスを加える。現在シルバー人材センターに1時間500円での委託を考えている他、地域の互助的組織の育成を図る。

問 国は要介護者を施設から在宅へとシフトさせてきた。それに伴い、居宅介護、通所介護の需要が増えている。しかし、それに応えられるだけの人員が確保できていないのが現状である。なぜ、このような人手不足が起きていると考えるか、また

今度の改定はそれを改善させられると思うか
答 全国的な問題だが、他の産業に比べ離職率が高く、また新規就労が少ないことが主な原因と考えている。「重労働・低賃金」のイメージが定着していることも人員確保を難しくしている。今後地域の互助力を高めていくことで、少しでも解消していきたい。



問 地域の互助力が高まるのは結構なことだが、保険制度である以上、必要なサービスを必要とする人が受ける体制をつくる

ことが国の仕事である。まずやるべきことは介護職の処遇改善ではないのか。市長としてしっかり国に対して問題提起をするともに、現場の声に耳を傾けてほしい
答 そうしたい。

放課後おさらい教室について

問 目的、内容、財源、対象者等はどうかについて

答 シルバー人材センターにおける雇用創出が目的で、3年間の国庫補助事業である。民間の塾のない地域が対象で、現在緑東校区の小中学生18人が有料で利用している。

問 見学させてもらったが、3人の元教員によるほのぼのとした雰囲気がとてもよい。今は地域格差だけでなく経済格差をなくす学習

機会の提供が必要と思う。大分県豊後高田市がこの点で大きな成功を収めている。水俣市でもシルバー人材センターによる3年間の補助事業で終わらせず、市として全校で取り組んでみないか

答 まちづくりは人づくりだと思っている。豊後高田市も参考にしながら、市が現在取り組んでいる週一回の外部講師派遣（放課後補充教室）を充実させる形で進めていきたい。



葛彩館でのおさらい教室

水俣環境アカデミアの不正 処理に対して、市長の説明 責任が果たされていない



小路 貴紀 議員

水俣環境アカデ ミアのホーム ページ作成不正 処理について

- 問** 12月議会において9月議会同様に市長自ら一連の説明をしなかったのはなぜか
- 答** 9月議会の一般質問、9月30日の全員協議会場で説明や陳謝をした。
- 問** 9月30日時点では市長責任に対する処分は決定しておらず、説明責任を果たしていないと思うがどうか
- 答** 記者会見、広報み

なまた、個人のブログでも伝えている。

- 問** 市長の給与減額の処分は12月議会で議案上程されている。問題を収束させたいとの考えがあるのなら、現状を正当化せず議会の場で説明すべきである。
- ちなみに、不正に関与した業者だが、仮庁舎移転に際して単独随意契約はあったのか
- 答** ネットワーク構築業務の1件で、4,943万円である。
- 問** 水俣市側から業者へペナルティを課さない姿勢に、業者との関係に疑念を抱く声がある。不正に関わった業者は自ら反省の意を示すべきと思うが、業者の営業担当が引き続き水俣市の仕事に関わることはありえないと思うがどうか
- 答** 今回確認してみても知ったが、そのまま担当している。

ふるさと納税について

- 問** 北海道^{かみしほ}上士幌町は人口5千人余り、町民税収は年間2億5千万円の自治体であるが、平成27年度は15億3千万円の寄附を集めた。現在は、新設した認定こども園の保育料が今後10年間は寄附を財源に無料になることが確約される等、子どもへの支援が手厚い。水俣市も保育料軽減や学童クラブ充実、小中学校へのエアコン設置、水俣高校支援等、自主財源不足で滞っている
- 答** 6月議会後に個人的な市長ブログを公的な市ホームページのリンクから外されていたが、理由は
- 答** 特に問題ないと答



市が発行する「ふるさと納税」パンフレット

災害時の対応 について

- 問** 水俣市への支援物資の受入れや倉庫の確保、配送等の協力体制について地場企業との連携強化を考えるべきだと思うがどうか
- 答** 市民にとっても大変心強いと思う。ぜひとも協力体制の構築を進めていきたい。
- 問** 地域の人材を育てていくためにも有効な手段であり、推進に向けて検討したい。
- 問** 6月議会後に個人的な市長ブログを公的な市ホームページのリンクから外されていたが、理由は
- 答** 個人ブログの写真的大半は秘書係が撮影したと思われるが、私の区別はついていないと思うか
- 答** 公務に撮影した写真を個人ブログへ提供してもらっている。





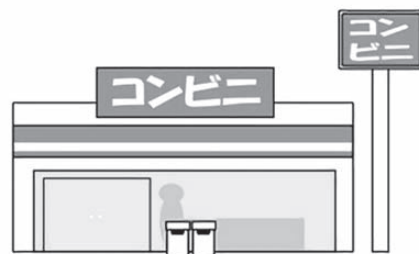
牧下 恭之 議員

コンビニ交付・納付で 市民の利便性の向上を

コンビニ交付 の検討を

問 窓口が開いていない土・日・祝日も早朝より深夜まで365日、全国どこでも証明書等の発行サービス（住民票・印鑑証明）等ができるが当市での導入の検討は

答 コンビニ交付導入のメリットは、住民の利便性の向上、財政支援の交付事務コストの低減である。しかし、費用対効果や個人番号カードの普及と他市の状況を考慮し検討する。



問 生活が多様化している現在、全国のコンビニで市県民税・固定資産税・国民健康保険税・軽自動車税等の支払いができる。納付者の利便性向上と、納期内納税の拡充・推進にもつながる。早急に実施すべきと思うが

答 今後も、口座振替制度の推奨及び適正な滞納整理を行い、コンビニ納付導入実施の自治体の実情を伺い検討を重ねていきたい。

教育問題 （図書館）

問 雑誌スポンサー制度の導入は

答 図書館の雑誌を民間事業所が年間の購入費を負担。事業所の社名や業務内容等の広告を雑誌のブックカバー等に表示するものである。図書館、事業所双方にメリットがある。今後、制度の導入に向けて取り組んでいく。

読書通帳導入

問 読書通帳導入の検討はどうなったのか

答 読書通帳は、借りた本の履歴を表示し、読書欲を高める効果がある。機械が高額なため、読書活動の推進に様々な事業を継続し読書欲を喚起したい。読書通帳導入は、今後も

他市の状況を見ながら研究したい。

書籍消毒器の 導入

問 本を借りる時に、ほこりや髪の毛が気になる、ダニや目に見えない細菌を紫外線で殺菌・消毒する書籍消毒器の導入は

答 図書館では、毎日、返却本の汚れをチェックしている。今後も清潔に保つよう努め、書籍消毒器の導入は、他の図書館の導入状況を参考に研究する。



デージー教科 書について

問 デイジー教科書の認識は

答 発達障がい等により、文字や図形等が認識困難な児童生徒に向けた教材である。パソコンを活用し、文字や音声を同時に提示、行間を広げて、その部分をハイライト表示し、理解を助ける。希望者には無償で提供される。

特集

水俣市議会の軌跡



拍手で議場に別れを告げる

議場の歴史

昭和24年4月1日

市制施行 水俣市の誕生

昭和26年

市役所2階で開かれていた市議会を、市民の傍聴の利便性と市政への関心を高めるため、公会堂に移す。

昭和35年3月24日

新庁舎の完成を機に、公会堂から同4階の議場に移り、6月議会から使用を開始する。

平成28年12月15日

定例会閉会后、全員で議場に感謝の拍手を送り別れを告げる。当面はもやい館3階ホールで行う。

近年の議会改革の取り組み

- ◇一般質問に一問一答方式を導入（平成15年12月～）
- ◇海外視察研修を凍結（平成15年度～）
- ◇議会ホームページの開設（平成16年度～）
- ◇各委員会の行政視察旅費を削減（上限10万円／回→上限8万円／回：平成16年度～）
- ◇各会派に対して交付される政務調査費を削減（月額3万円／人→月額2万円／人：平成17年度～）
- ◇会議出席の費用弁償を削減（全廃：平成18年度～）
- ◇議員報酬を10%削減（平成23年5月～）
- ◇水俣市議会基本条例、水俣市政治倫理条例を制定（平成23年4月施行）
- ◇議会報告会を開始（平成23年9月～）
- ◇議案の賛否を議会だよりに掲載（平成24年1月～）
- ◇議会インターネット中継を開始（平成24年12月～）
- ◇政務活動（調査）費を公開（平成24年度～）
- ◇議長交際費を公開（平成24年度～）
- ◇各委員会の調査活動の充実を図るため、行政視察旅費を増額（上限8万円／年→上限12万円／年、国内いずれの自治体へも視察できるよう見直したもの：平成29年度～）

議員定数の推移

昭和42年	30人	→	26人
平成3年5月			24人
平成15年5月			22人
平成19年5月			18人
平成23年5月			16人

代	歴代議長名	在任期間
1	村下 改蔵	昭24. 4. 1～26. 4.29
2	村下 改蔵	26. 5. 7～26.12.20
3	尾田 学	26.12.20～30. 4.30
4	尾田 学	30. 5.14～32. 5.29
5	尾田 学	32. 5.29～34. 4.30
6	渕上 末記	34. 5.15～38. 4.30
7	尾田 学	38. 5.15～40. 6.26
8	斉所 市郎	40. 6.26～42. 4.30
9	廣田 愿	42. 5.15～44. 6.13
10	斉所 市郎	44. 6.13～46. 4.30
11	斉所 市郎	46. 5.10～50. 4. 1
12	渕上 末記	50. 5.14～54. 4.30
13	鬼塚長太郎	54. 5.14～56. 6. 8
14	山口 義人	56. 6. 8～58. 4.30
15	吉井 正澄	58. 5.18～60. 6.11
16	松田 優	60. 6.11～62. 4.30
17	前嶋 昭光	62. 5.18～平元 .6.5
18	緒方 廣記	平元 6. 5～ 3. 4.30
19	山口 栄	3. 5.15～ 5. 6. 7
20	吉井 正澄	5. 6. 7～ 5.12.22
21	徳富 勲	5.12.22～ 7. 4.30
22	萩嶺 唯信	7. 5.18～ 9. 6. 2
23	蓑田 弘	9. 6. 2～11. 4.30
24	高山 茂行	11. 5.18～15. 4.30
25	松本 満良	15. 5.16～17. 9. 2
26	緒方 誠也	17. 9. 2～19. 4.30
27	松本 和幸	19. 5.16～23. 4.30
28	真野 頼隆	23. 5.18～25. 5.31
29	大川 末長	25. 5.31～27. 4.30
30	福田 斉	27. 5.13～

※新水俣市史参照



夜間議会が話題に

平成7年から平成15年まで12月議会を夜間に実施し、当時市民の傍聴者が通常の10倍に達することもありました。三夜連続の議会は全国的にも例がないというこ
とで、新聞で全国にも紹介され話題となりました。

議会だより創刊



創刊当時の編集委員のメンバー
写真左から真野委員、前島委員、竹下委員長、小形副委員長、川本委員、清水委員

平成10年5月、議会と市民を結ぶパイプとして、議会がどのような働きをしているのか知っていただきたいとの思いから、今ではすっかりお馴染みとなった「議会だより」が創刊されました。表紙のタイトル「MINAMATA」のブルは水俣の水のイメージ、トレッドマークの亀のイラストは今も当時の議員の思いとともに引き継いでいます。

歴代議長から寄せられたメッセージ

故川本輝夫議員と議長



第15代 吉井 氏
第20代議長 正澄 氏

1983年の市議会議員改選後の初議会は開会前から議場周辺は人々でごった返し傍聴席は水俣病患者やその支援者、メディア関係者などで超満員となった。水俣病闘争で全国に名を馳せていた故川本輝夫さんが議員に初当選、初議会だったからである。市議会を新聞各社が大きく報じ、NHKや民放カメラが議場に入り全国に放映された。議会史上初の出来事であった。おかげで選任された直後で新米議長の私もテレビに映し出された。

だ。川本議員は第〇号議案は反対であったのに一括して採決して反対する機会を封じた。民主主義に反する。採決をやり直せ」と激しく怒鳴られ吊るし上げられた。

川本議員の一般質問は立て板に水、超早口であった。そこで「もう少しゆっくり発言してください。速記が困ります」と注意した。閉会して議長室に帰ったら、事務局長が「速記の二人が『あの程度の早口は楽に速記ができる。議長は私たちを侮辱した』と、かんに怒っている」と教えてくれた。プロのプライドである。感服し、素晴らしい職員が存在に誇りを感じた。想い出尽きない議場であった。新しい議場から全国の範となる議会活動が生まれることを切望してやまない。



第26代議長
緒方 誠也 氏

56年の議場歴史に幕を閉じた12月議会大変ご苦労様でした。

市庁舎が取り壊され、現在の議場がなくなることの現実に接し感慨深いものを感じます。

平成2年から24年間使わせていただきました。その間、ケガをして松葉杖について議場に入ったこともあります。環境創造水俣、水俣病問題、資源ごみの分別収集、生ごみ堆肥化問題、土石流問題、産廃問題等々、侃々諤々かんかんがくがく執行部と、あるいは議員間で議論した事が思い出されます。水俣をどうするのか、何が水俣のためになるのかを考え、提案なり、議論をしてきたつもりですが如何だったでしょう。水俣が環境モデル都市、環境首都に認定され、行きたくない水俣から、行きたい水俣に変化していることを思えば、少しは役に立った

のかと胸をなでおろします。議会改革にも仲間の議員としっかり取り組み、県下上位の議会評価を得ました。

今から仮庁舎、仮議場となり議員の皆さん大変だろうと思います。が、不便さを乗り越え市民のためしっかり頑張ってください。

真に水俣のためになる議論をしてください。市民が議場に足を運びたい議論をしてください。読むのが楽しみになる内容のある議会報をつくってください。口幅ったい要望となり申し訳ありません。最後に議員諸氏の益々のご奮闘を期待します。



第27代議長
松本 和幸 氏

昭和58年4月初当選、今年、議員生活31年になります。本庁舎には愛着があり、大変、名残惜しいものがあります。

これまで浮池正基市長、岡田稔久市長、吉井正澄市長、江口隆一市長、宮本勝彬市長、西田弘志市長の6名の市長と仕事をしました。水俣の発展のため、精一杯の仕事をされてきました歴代の市長の皆様に対して敬意を表したいと思います。

さまざまな問題で特別委員会を設置してきました。その多くで委員長を務めました。その中でも、高速交通対策特別委員会委員長は、西回り自動車道と新幹線の誘致が主な仕事でした。特別委員会を初めて内山地区で開催し、ご意見を伺いました。色々な考えの方がいらっしましたので、その時、

改めて耐えることを知りました。

平成15年土石流災害は、水俣豪雨災害対策特別委員長として、被災された皆様の要望をお聞かせいただくために、集地区の公民館で特別委員会を開き、県、国に対して、支援の働きかけをしてまいりました。被災者の皆様に対して満足のいく補償ができなかったことが心残りです。

平成19年から23年まで議長を拝命し、水俣病解決、チッソの分社化とJNC(株)の上場、特別措置法成立のため、自民党をはじめ、各会派を回り、園田代議士、宮地代議士、なかでも、当時、国対委員長、現議長の大島先生には大変お世話になりました。これからも水俣の経済発展のため、JNC(株)の上場を応援していきます。

長い間慣れ親しんだ議場が無くなるという事実は、一抹の淋しさを感じます。市役所は建設以来約56年が経過しており、そろそろ建て替えの時期にあったのも事実です。新しい市役所は場所も含めて、危機管理に対応したコンパクトな役所であって欲しいです。

私は平成7年に議員になりましたが、初めての一般質問で本壇に立った時、足がガクガク震えたのを今も鮮明に覚えています。議員数も24名で委員会も4つあり、市の将来に明るい展望が開けるよう侃々諤々議論した事が懐かしく感じられます。その中でも一番印象に残っているのが、国民宿舎水天荘を廃止するか存続させるかという議論になった時、市としてはここ数年赤字経営が続いており、このままの状態では廃止せざるを得



第28代議長
真野 頼隆 氏

ないということでありました。しかし私は、同じく経営危機にあった通潤山荘（現山都町）が民間支配人を採用することによって黒字経営化したことを知り、早速その支配人より経営のノウハウを教わり、水天荘も経営に携わる市職員を会計責任者だけにし、他はパートを含め民間対応で十分存続できると主張しましたが、結果はご存知のように廃止となりました。

少子高齢化の中でこれからの水俣の進む道を考える時、水俣唯一の高校となった水俣高校を市民であげてみんなで盛り上げていくことがキーポイントになると思います。市議会も更なる進化（真価）が問われています。

3期12年の議員生活

私は平成15年の市議会議員選挙で初当選し、平成27年4月30日までの3期12年、市議会運営委員長を歴任し、3期目の後半2年間は第29代の栄誉ある議長に選任され、その重責を担うことになりました。

議会内の取り組みでは、皆さんと知恵を絞りながら、政治倫理条例や、議会基本条例の制定を行い、自らの言動をより厳しく、律していくこととしました。この中では昨今問題視されている政務活動費の使途等については、他市に先がけて見直しを行い、何人からも指摘を受けないようなものにしました。

議長任期中の特筆すべきことは、平成25年10月に行われた全国豊かな海づくり熊本大会において2日間にわたり、天皇皇后両陛下



第29代議長
大川 末長 氏

と謁見し、お食事を御一緒できたことです。26日にはレセプション会場のホテル日航熊本で両陛下との数分間の御拝謁の時間を得ました。10月27日には放流会場のそばの熊本県環境センターでの会食の場で、私も宮本市長も緊張の連続でしたが両陛下とも、とても柔らかな顔でやさしく語りかけてくださいました。かけて頂いたお言葉は今でも鮮明に胸に焼きついていきます。私にとっては何にもかえがたい栄誉なことでありました。

以上3期12年、議長を花道に市議会議員を退任しましたが、今後とも一市民として市政発展のため微力を捧げて参りたいと思っています。

議会の主な動き

(H28.10.1~12.31)

- | | | |
|--------|---|--|
| 10月6日 | 水俣市戦没者追悼式 | 案について) |
| 10月7日 | 厚生文教委員会(平成27年度の病院事業会計並びに国民健康保険事業、後期高齢者医療、介護保険特別会計の決算審査) | 11月25日 平成28年第4回水俣市議会定例会開会 |
| 10月12日 | 総務産業委員会(平成27年度の水道事業会計及び下水道事業特別会計の決算審査) | 12月1日 各派代表者会議(仮庁舎の見学) |
| 10月25日 | 一般会計決算特別委員会(平成27年度一般会計決算審査~27日) | 12月6日 一般質問(~8日) |
| 10月29日 | 水俣病犠牲者慰霊式へ議員が参加(エコパーク水俣親水緑地) | 12月9日 常任委員会(議案審議) |
| 11月7日 | 議会運営委員会(12月定例会の会期について)
各派代表者会議(水俣市本庁舎建替検討委員会委員への議会推薦委員の取扱い等について) | 12月15日 平成28年第4回水俣市議会定例会閉会
庁舎建替等対策特別委員会(本庁舎建替検討委員会への意見取りまとめ) |
| 11月17日 | 庁舎建替等対策特別委員会(仮庁舎への移転等について) | 12月19日 厚生文教委員会現地視察(病児・病後児保育「もくれん」) |
| 11月18日 | 議会運営委員会(12月定例会の提出議 | 12月28日 市役所仕事納め式 |



政務活動費について

全国の地方自治体で政務活動費の不正受給が問題になりましたが、政務活動費とは議員活動を行う上で調査研究あるいは必要な経費の一部(事務所費、人件費、消耗品費等)に充てることができる費用です。自治体の規模によって金額はそれぞれで、熊本県議会議員は月額30万円。熊本市議会等の大きな自治体では月額20万円ですが、水俣市議会は月額2万円です。水俣市議会の場合は、事務所費や年に数回行う先進自治体への行政視察等のための経費に充てています。

透明性のある会計処理に努めており、詳細は市議会ホームページ(<http://118.22.15.147/Category5-6-0.html>)で公開しています。

市議会ホームページから議会の動画や会議録をご覧ください！

水俣市 議会

検索

編集後記

昨年末から仮庁舎での業務が開始されました。市民の皆さまには様々なご不便をおかけしますがご理解とご協力をお願いいたします。熊本地震で庁舎が被災してこのような事態になったわけですが、本年こそは平穏な年でありたいと心から願うばかりです。

さて、56年もの長きにわたって、水俣市の課題を議論してきた水俣市議会の議場ともお別れです。先輩諸氏に敬意を表すとともに、今回は「水俣市議会の軌跡」という特集記事を掲載しました。歴代議長にもメッセージを寄せていただきました。当時を振り返って懐かしく思っていただければ幸いです。

編集委員(委員は50音順)

委員長	谷口 明弘
副委員長	小路 貴紀
委員	桑原 一知
〃	高岡 朱美
〃	田口 憲雄
〃	田中 睦
〃	中村 幸治
〃	藤本 寿子
議会事務局員	上田 純